

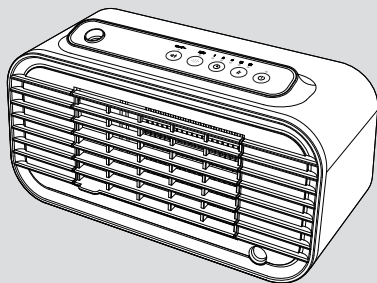
THREEUP

THREEUP

人感センサー付 加湿セラミックヒーター 「ミニモイストヒート」

CH-T2667

取扱説明書



本製品は日本国内専用です

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1 ~ 4
パッケージ内容	4
別売品	4
仕様	4
各部のなまえ	5

ご使用の前に

設置について	6
知っておいていただきたいこと (加湿モード運転時)	7

ご使用方法

暖房運転する(連続運転)	8
停止する	8
風向きを変える	9
暖房運転を切り替える	9
オフタイマーを設定する	9
人感センサーモード (自動運転)	10
加湿モード	11 ~ 12

点検・サービス

お手入れと保管方法	13 ~ 15
コンセントの点検	16
故障かな?と思ったら	16 ~ 17
保証・サービス	18

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。火災、感電、ケガの原因になります。分解や修理をしないでください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。本体を水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。感電、火災、故障の原因になります。

お子様や取り扱いに不慣れな方、ご自分で体温調節のできない方だけで使ったり、触れさせたりしないでください。感電やケガ、事故の原因になります。



禁止

屋外や直射日光の当たる場所では使用しないでください。絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。本体の変形によるショート、発火の原因になります。



禁止

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になります。

吹出口から給水しないでください。故障や感電、水漏れの原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。また、本体に向けて吹きかけないでください。爆発や火災の原因になります。

長時間、身体と同じ場所を温め続けしないでください。やけどや低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。火災ややけどの原因になります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

警告

温風吹出口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

ミスト吹出口にピンや針金などの異物を入れたり、ふさいだりしないでください。

- ケガや事故の原因になります。
- 過熱による本体の変形、発火の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちる原因や、発熱による火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

靴や衣類などの乾燥には使わないでください。

火災ややけどの原因になります。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置場所について、P.6「設置について」を必ずご確認ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。



必ず守る

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コードや電源プラグ、本体などが触ることが出来ないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。

※初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分のにおいがすることや、まれに少量の煙が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



接触禁止

運転中と運転停止直後は温風吹出口に触れないでください。

高温になっているため、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。
故障の原因になります。

家具や壁、カーテンにミストが直接当たる場所には設置しないでください。
シミや汚れの原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。
移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。
● テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。
● 直接温風が当たると故障の原因になります。



禁止

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。
● 落下、転倒などにより、ケガや事故、故障の原因になります。
● 安定した水平な場所に置かれていないと転倒時自動オフスイッチが動き、運転が停止します。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。
転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

壁や家具の近くで使用しないでください。
過熱による変形や変色、火災の原因になります。

就寝時や人のいない場所では使用しないでください。
事故や火災の原因になります。

犬や猫などのペット用には使わないでください。
ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障、火災の原因になります。



禁止

薬品などの周囲では使用しないでください。
本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

水タンクの水が凍結するような場所では使用しないでください。
故障の原因になります。

湿度の高い場所(75%以上)では使用しないでください。
家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

常温の水道水以外は使用しないでください。
● 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
● 人感センサーが汚れていると、作動しなかったり誤作動したりする場合があります。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。また、運転中に吸気フィルターを取り外さないでください。
本体内部にホコリがたまり、本体内部が過熱するなど、事故や故障の原因になります。

お手入れや持ち運び、保管の際は、本体が冷めてから行ってください。
火災ややけどの原因になります。



必ず守る

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。
● 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
● 人感センサーが汚れていると、作動しなかったり誤作動したりする場合があります。

⚠ 注意



必ず守る

水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。



必ず守る

人感センサー部周囲の環境に注意して設置してください。設置環境について、P.10「人感センサーモード(自動運転)」をご確認ください。



接触禁止

吸気口の内側に指を入れないでください。ケガの原因になります。

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体	1	取扱説明書(保証書付き) 本書	1
吸水スティック(内1本は本体付属)	3		

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	商品単価(税抜)
吸気フィルター	1	500 円
吸水スティック(3本入り)	1	600 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

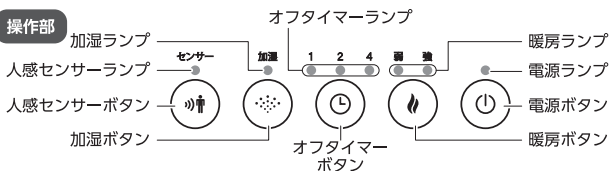
本体サイズ	幅22×奥行10×高さ11cm	本体重量	約870g
材質	ABS、PA66	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	強/500W、弱/300W	運転モード	ヒーター2段階切替(強/弱)、加湿モード、人感センサー(自動運転)
加湿量	30mL/h	水タンク容量	260mL
オフタイマー	1・2・4時間	自動オフタイマー	6時間
加湿方式	超音波	機能	メモリー機能、加湿単独運転
1時間あたりの電気代	約15.5円 (強/500W連続運転時)	安全装置	サーモスタット、温度ヒューズ、転倒時自動オフスイッチ
コード長	1.2m	—	—

※ 商品は改良のため、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

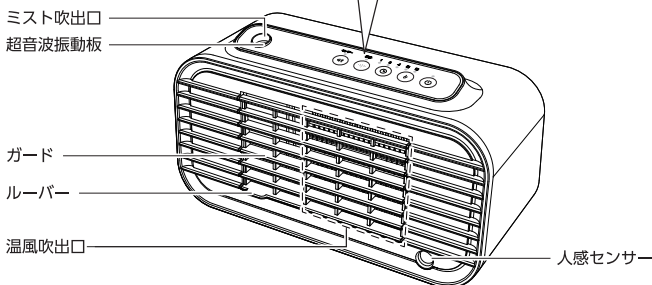
※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh(税込)で計算した際の目安となります。

各部のなまえ

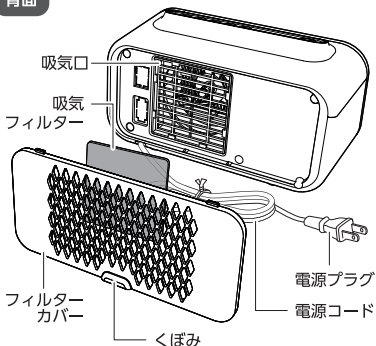
操作部



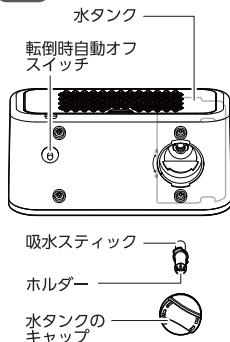
正面



背面



底面



ご使用の前に

設置について

■ 設置条件

⚠ 警告



必ず守る

下図の設置距離を必ずお守りください。

- 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
- カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。また、本体の上に物をかぶせないでください。
- 本体背面の吸気口が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。

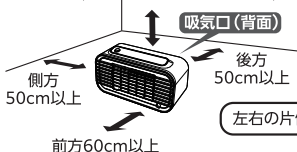
⚠ 注意



必ず守る

- 極端に高温になる場所や、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 家具や電化製品、壁などに直接温風が当たるような場所には設置しないでください。
- テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置すると、雑音などが入る場合がありますので、十分に距離をとって設置してください。
- 水平で安定している場所に設置してください。
 - 斜面や毛足の長い敷物の上など不安定な場所に設置すると、転倒などの原因になります。
 - 転倒時自動オフスイッチが作動して電源が入らない原因となります。

上方1m以上(落下物のおそれがない場所)



左右の片側は開放空間にしてください。

■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりしたときに自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用になる場合は、水平な床面にもう一度正しい向きに設置して「電源」ボタンを押してください。



■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。

少し時間をおいて温度が下がれば運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

知っておいていただきたいこと（加湿モード運転時）

■ 白い粉の付着について

本製品を長く使用すると、超音波振動部に汚れや白い粉が付着します。これらは水に含まれているミネラル分やカルキ、鉱物成分などが結晶として現れるものです。

加湿性能の低下や故障の原因になりますので、定期的にお手入れを行ってください。

■ 結露について

使用環境によって結露が発生して本体や床面を濡らす場合があります。

結露した場合は布などで拭き取ってください。

〈結露しやすい環境〉

- 夏：高温多湿の室内でエアコンを使用し、急激に室内の温度を冷やしたとき
→ 室内の除湿を十分に行ってください。
- 冬：室内の温度が低いとき → 室内を暖めてからご使用ください。

※ このほかに、エアコンの運転時間や本体設置場所の位置関係により、結露が発生する場合があります。

■ ガスコンロの炎が赤やオレンジになる現象について

水道水に含まれるカルシウムや微量のアルカリ金属がガスコンロの炎と反応したためです。窓を開け、換気しながらご使用ください。

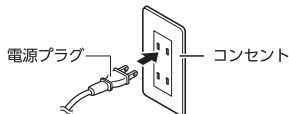
ご使用方法

暖房運転する(連続運転)

初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分のにおいがすることや、まれに少量の煙が出るがありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。

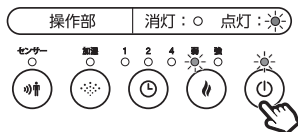
“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



- ② 本体の『電源』ボタンを押します。

『電源』ランプと『暖房』ランプが点灯して運転を開始します。

ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。



加湿モード単独で運転する

暖房運転をしないで加湿モード単独で運転することもできます。

加湿モード単独で運転する際は、P.11 ~ 12「加湿モード」をご確認いただき、必ず水タンクに水を入れてください。

停止する

運転中に本体の『電源』ボタンを押します。

“ピーッ”と電子音が鳴って全てのランプが消灯し、暖房運転が停止します。

メモ 暖房運転の停止後は内部冷却のため、約30秒間送風運転を行います。

自動オフタイマー機能

電源の消し忘れを防止するため、最後の操作から6時間後に自動停止します。

※人感センサーモード設定中は、自動オフタイマー機能は作動しません。

メモリー機能

一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。
(オフタイマー設定時および加湿モード時は除く)

⚠ 注意



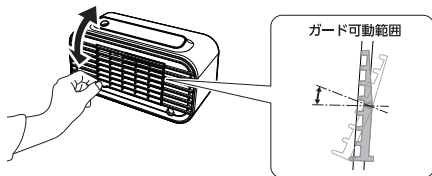
必ず守る

- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

ご使用方法

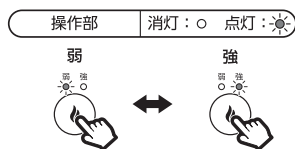
風向きを変える

ルーバーのツマミを持ってガードを上下に動かして固定します。



暖房運転を切り替える

運転中に本体の『暖房』ボタンを押します。
『暖房』ボタンを押すたびにヒーターの「弱」/「強」が切り替わり、設定にあわせて『暖房』ランプが点灯または消灯します。



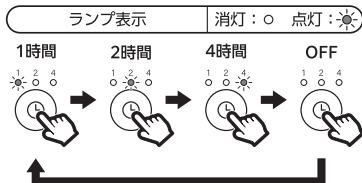
メモ 「弱」/「強」の切り替えはヒーターの発熱量を切り替えるもので、温風の風量は変わりません。

オフタイマーを設定する

- ・ 1・2・4時間の範囲で設定時間が経過すると暖房運転を停止します。
加湿モードは停止せず運転を続けます。
- ・ 暖房運転時または暖房と加湿の同時運転時に設定できます。

■ オフタイマーの設定のしかた

運転中に『オフタイマー』ボタンを押します。
『オフタイマー』ボタンを押すたびに設定時間が切り替わり、設定にあわせて『オフタイマー』ランプが点灯または消灯します。
1時間、2時間、4時間で設定できます。



■ オフタイマーの解除のしかた

『オフタイマー』ランプが消灯するまで、『オフタイマー』ボタンを繰り返し押します。

メモ 時間経過にあわせて点灯する『オフタイマー』ランプが切り替わり、残時間を表示します。

人感センサーモード(自動運転)

■ 人感センサーモードについて

人感センサーで人の動きを感知して、自動で運転と停止を行います。

■ 人感センサーの感知範囲

左右方向 感知範囲

上下方向 感知範囲



感知距離は、約1m以内です。

■ 人感センサーの設置環境

- 人感センサーは熱の変化に反応するため、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。
 - カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
 - 人感センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
 - エアコンなどの送風を受ける場所
 - 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
 - 湿度の高い場所や加湿器の近く
 - 他の熱源(トイレの温便座など)の近く
- 人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどには人感センサーは感知しません。
- ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

■ 人感センサーモードの設定のしかた

運転中に本体の『人感センサー』ボタンを押します。

『人感センサー』ボタンを押すたびに人感センサーモードの「ON」/「OFF」が切り替わり、設定にあわせて『人感センサー』ランプが点灯または消灯します。

ランプ表示

消灯：○

点滅：●

点灯：●

OFF

ON(運転中)

ON(待機状態)



メモ

- 人感センサーが連続で約2分間、人を感知しないと『人感センサー』ランプが点滅して待機状態となり、送風運転(約30秒間)したあとに運転を停止します。待機中に人感センサーが人を感知すると“ピッ”と電子音が鳴り、『人感センサー』ランプが点灯して運転を再開します。
- 人感センサーが動くのは暖房運転のみです。加湿モードは停止せず運転を続けます。

ご使用方法

加湿モード

- 暖房と加湿の同時運転でお部屋を暖めながら乾燥も防ぐことができます。
- 本製品は吸水スティックに水を浸透させてミストを噴霧するタイプの加湿器です。
初めてご使用になる場合や吸水スティックが乾燥している場合は、吸水スティックに水が浸透するまでミストが出にくくなります。
 - 運転前に吸水スティックを水に濡らしてから使用すると、ミストが出るまでの時間が早くなります。
 - 水が少なくなり吸水スティックが水に浸らなくなると、ミストが出にくくなります。
- 暖房運転をしないで加湿モード単独で運転することもできます。

■ 加湿モードのご使用前に

加湿モードのご使用前に必ず水タンクに水を入れてください。

※暖房単独で運転する際は給水不要です。

⚠ 注意



必ず守る

- 水を入れる際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
また、電源プラグと電源コードを濡らさないように注意してください。
感電の原因になります。
- 必ず水道水を入れてください。
一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。



禁止

次のような水は水タンクに入れないでください。

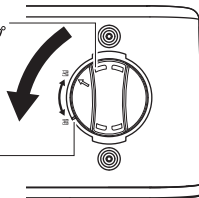
- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

■ 水タンクに水を入れる

- ① 本体底面から水タンクのキャップを反時計回りに回して取り外します。
底面の「開」の目印とキャップの矢印の位置が合うように回してください。

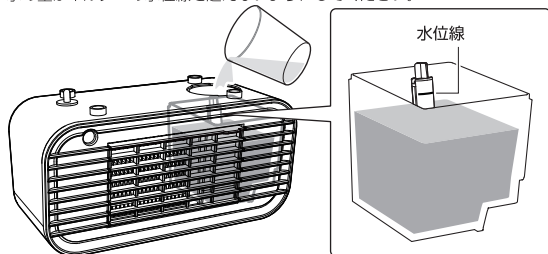
水タンク
のキャップ

目印



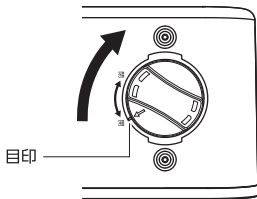
② 本体底面を上に向けた状態で水タンクに水を入れます。

本体底面がおおよそ水平な状態で水を入れてください。
水の量がホルダーの水位線を越えないようにしてください。



③ 本体底面に水タンクのキャップを時計回りに回して取り付けます。

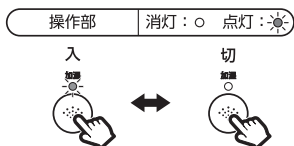
底面の「開」の目印とキャップの矢印の位置を合わせてキャップを本体にはめてください。
その後、底面の「閉」とキャップの矢印の位置が合うまでキャップを回してください。
取り付け後、キャップのゆるみがないことを確認してください。



■ 加湿モードを設定する

本体の『加湿』ボタンを押すと、『加湿』ランプが点灯してミスト吹出口からミストが出ます。

『加湿』ボタンを押すたびに加湿の「入」/「切」が切り替わり、設定にあわせて『加湿』ランプが点灯または消灯します。



メモ

- ミストが出なくなると水タンクの水が無くなった可能性があります。運転を停止して水タンクに給水してください。
- 『電源』ランプが消灯している状態で『加湿』ボタンを押すと、暖房運転をしないで加湿モード単独で運転します。加湿モード単独で運転中は、他のボタン操作はできません。暖房運転をする場合は、『加湿』ボタンを押して加湿モードを停止してから『電源』ボタンを押してください。

お手入れと保管方法

警告



必ず守る

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分に冷えてからお手入れをしてください。

感電やケガ、やけどの原因になります。

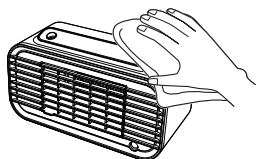
各部のお手入れは2週間に1回以上行ってください。

■ 本体と人感センサーのお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、十分に乾かしてください。

お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



■ フィルターカバー、吸気フィルター、吸気口のお手入れ

フィルターカバーを取り外してお手入れをしてください。

- ① フィルターカバーのくぼみに指先を掛けて、手前に引いて取り外します。
- ② 吸気フィルターを本体から取り外します。
- ③ 各部のお手入れをします。

フィルターカバー

本体と同様のお手入れをしてください。

吸気フィルター

水洗いしてください。掃除機でのお手入れは破れるおそれがありますので避けてください。

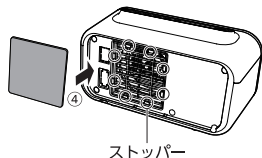
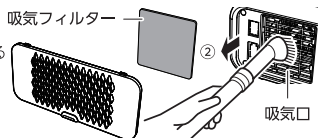
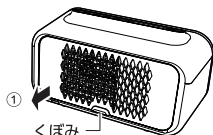
お手入れ後は陰干しして十分に乾かしてください。

吸気口

たまったホコリは掃除機で吸い取ってください。

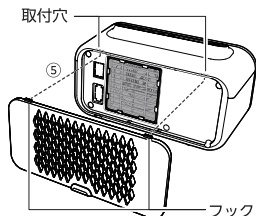
- ④ 吸気フィルターを本体に取り付けます。

本体のストッパー（8か所）に引っ掛けてください。



⑤ フィルターカバーを本体に取り付けます。

フィルターカバーのフック（2か所）を本体の取付穴に差し込んでカバーを本体にはめてください。



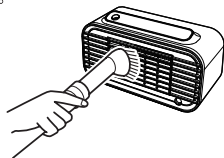
■ 温風吹出口のお手入れ

ガードのすき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

温風吹出口周囲の変色について

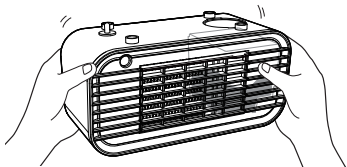
ご使用方法、ご使用状況によっては温風吹出口の周囲が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。また変色や変形の原因になりますので、次のようなご使用方法はお避けください。

- 吸気口や吸気フィルターにホコリが詰まった状態での使用。
- 吸気口、温風吹出口付近に障害物がある状態での使用。
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用。



■ 水タンクのお手入れ（週2回以上）

少量の水を入れて軽く振り洗いしたあと、水を捨てます。汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用し、洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。

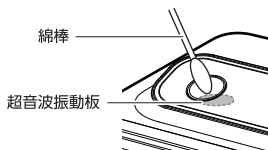


■ 超音波振動板のお手入れ（週2回以上）

綿棒などで軽くこすって、水アカを落としてください。

※金属製のブラシなどでこすると、傷が付き、故障の原因となりますので、使用しないでください。

※超音波振動板の汚れを取り除く際は、衝撃を与えないよう丁寧に取り除いてください。

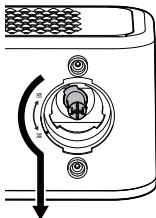


メモ 加湿モードの停止直後は、超音波振動板が高温になっているため、直接触れないでください。

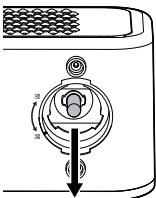
■ 吸水スティックの交換について

1か月に1回を目安に、吸水スティックを交換してください。(1日4時間使用した場合)

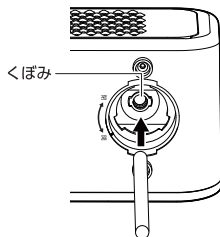
- ① 本体底面から水タンクのキャップを反時計回りに回して取り外します。(P.11)
- ② 水タンクからホルダーを反時計回りに回して取り外します。



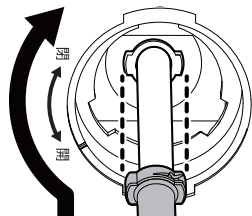
- ③ 水タンクから古い吸水スティックを取り外します。



- ④ 水タンクのくぼみに新しい吸水スティックの先端を差し込みます。



- ⑤ 水タンクにホルダーを差し込み時計回りに回して取り付けます。
ホルダーの形状と水タンクの突起の形状を合わせながら差し込んでください。
取り付け後、ホルダーが固定されていることを確認してください。



- ⑥ 本体底面に水タンクのキャップを時計回りに回して取り付けます。(P.12)

■ 保管方法

- 水を入れた容器に残った水は必ず捨ててください。
- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。
湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- 吸水スティックも取り外して十分に乾かしてください。
- 本体にポリ袋をかぶせてお買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

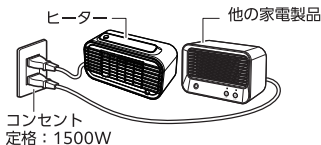
コンセントの点検

●コンセントなどの配線器具には寿命があります。

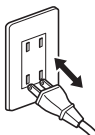
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

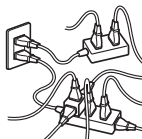
✕ 定格容量いっぱいで使用する



✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



✕ タコ足配線する



●次のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
- 電源プラグやコンセントが触れられないほど熱い。
- 表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- 表面が変色、焦げあとがある。

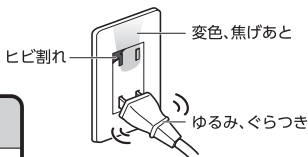
そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。

⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。
焼損や火災、事故の原因になります。



故障かな?と思ったら

スリーアップカスタマーサポートにご連絡いただく前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
運転しない	●電源プラグが外れている。 ●電源が「OFF」になっている。 ●安定した水平な場所に置かれていない。(転倒時自動オフスイッチが働いている) ●内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。	●電源プラグをコンセントに接続してください。 ●「電源」ボタンを押してください。 ●安定した平らな床面でお使いください。 ●本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。
電源を切っても停止しない	●運転停止直後である。	●運転停止直後は、ヒーターの冷却のため約30秒送風が続きます。故障ではありません。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転音が大きい	- 不安定な場所に設置している。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。	- 安定した水平な場所に設置してください。 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
異臭がする	- はじめて運転をしたため。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。	- はじめてご使用になる時は、においや、まれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になります。 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
人感センサーが感知しない	- 人感センサーモードに設定されていない。 - 人感センサーが汚れている。 - 人感センサーに直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。 - 人感センサーの感知範囲を超えている。	『人感センサー』ボタンを押して人感センサーモードに切り替えてください。 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。 - 設置環境について、P.10「人感センサーモード（自動運転）」をご確認ください。 - 人感センサー感知範囲内でお使いください。
人感センサーで停止しない	温風で部屋が暖かくなっている。	ご使用になる場所の広さにより温風で部屋が暖かくなる場合があります。反応しなくなるときがあります。設置場所を変えてください。
ミストが出ない	- 水タンクの水がなくなった。 - 給水した直後である。 - 超音波振動板が汚れている。 - 吸水スティックが正しく取り付けられていない。 - 吸水スティックに水がしみ込んでいない。	- 水タンクに給水してください。 - 給水した直後は、吸水スティックに水が浸透するまで少し時間がかかります。 - 超音波振動板に水あかなどが付着するとミストの出方が悪くなります。超音波振動板のお手入れをしてください。 - 吸水スティックを正しく取り付けてください。 - 吸水スティックに水がしみ込むまでお待ちください。
電源が切れた	自動オフタイマーが作動した。	『電源』ボタンを押して運転を再開してください。
カチッと音がする	転倒時自動オフスイッチが反応している。	本体を動かしたときに音がする場合は、転倒時自動オフスイッチの動作音です。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。
 ※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

長年ご使用の製品はよく点検を行ってください。

●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが触れられないほど熱い。
（別のコンセントに差し直しても熱い）
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。